

4 ザ・クラリノッツ



～スーパー・クラリネット・アンサンブル～

ベルリンとウィーン、世界の二大オーケストラの首席を占めるオッテンザマー一家が奏でる極上サウンド。

2016 2/2 火 19:00開演(18:30開場) 東京文化会館 小ホール
(平成28年)

【出演】

ザ・クラリノッツ(クラリネットトリオ)
The Clarinotts, Clarinet Trio
エルンスト・オッテンザマー
Ernst Ottensamer
ダニエル・オッテンザマー
Daniel Ottensamer
アンドレアス・オッテンザマー
Andreas Ottensamer
菊池洋子(ピアノ)
Yoko Kikuchi, Piano

【曲目】 "ON STAGE" ~オペラ、舞曲、そして映画音楽とともに～

- モーツァルト Mozart
オペラ「皇帝ティートの慈悲」より「私は行くが、君は平和に」
La clemenza di Tito: "Parto, Parto, ma tu, ben mio"
オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」より「風はおだやかに」
Cosi fan tutte: "Terzettino: Soave sia il vento"
オペラ「後宮からの逃走」より「どんな責め苦があろうとも」
Die Entführung aus dem Serail: "Martern aller Arten"
- バッシ Bassi
オペラ「椿姫」のモチーフによる幻想曲
Fantasia di Concerto "La Traviata"
オペラ「リゴレット」のモチーフによる幻想曲
Fantasia di Concerto "Rigoletto"

■ロッシーニ Rossini
踊り
La Danza

■コヴァーチ Kovács
ファリヤへのオマージュ
Hommage à Manuel de Falla
ガーシュウィンへのオマージュ
Hommage à George Gershwin
ショレム・アレイヘム
Sholem Aleichem

■ボンファ Bonfa
オルフェの歌
Chanson D'orphee
■コロニー Koreny
Take Five
Take Five

プラチナ・シリーズ

4 ザ・クラリノッツ

そのメンバーの名前を見て、おや、と気付いた方も多いかも。ユニークなクラリネット・アンサンブルであるザ・クラリノッツは、家族によるアンサンブルなのである。しかも父エルンストはウィーン・フィルの首席、息子ダニエルもウィーン・フィルの首席、もうひとりの息子アンドレアスはベルリン・フィルの首席奏者である。こんな例は世界中を探しても、おそらくオッテンザマー一家だけだ。そして、それぞれが素晴らしいソリストであり、同時にこのアンサンブルのメンバーなのである。

たくさんの管の種類を持つクラリネットは高音から低音まで、幅広い音域をカバーしており、そのアンサンブルは意外性にも富んでいる。今回はピアノに菊池洋子を迎えて、モーツァルトのオペラ、ロッシーニの舞曲、映画音楽など様々な種類の曲を披露する。クラリネットの柔らかく、温かい音色。それが重なりあって作り出す豊かなハーモニーの世界。それを堪能したいコンサートだ。

片桐卓也(音楽ライター)

ザ・クラリノッツ(クラリネット・トリオ)

The Clarinotts, Clarinet Trio

エルンスト・オッテンザマー
Ernst Ottensamer

ダニエル・オッテンザマー
Daniel Ottensamer

アンドレアス・オッテンザマー
Andreas Ottensamer



菊池洋子(ピアノ)
Yoko Kikuchi, Piano



クラリネット・トリオ「ザ・クラリノッツ」は、ウィーン・フィルハーモニーの首席クラリネット奏者であるエルンスト・オッテンザマーと彼の二人の息子ダニエルとアンドレアスによるユニークなアンサンブルである。エルンストもウィーン・フィルの、そしてアンドレアスはベルリン・フィルの首席クラリネット奏者である。三人はそれぞれソリストとして第一線で活躍するから、3本のクラリネットというユニークな構成による作品を演奏することを主たる目的として、2005年にこのトリオを結成した。そこには、伝統的なBbクラリネットだけではなく、バセットホルン、バスクラリネット、そしてEbクラリネットなど、クラリネットに分類される様々な楽器を用いて演奏したいという彼らの願いがあった。こうして「ザ・クラリノッツ」は、1本から4本のクラリネットのために書かれた作品から、自ら編曲した作品に至る幅広いレパートリーを築き上げた。また、彼らのために多数の作品が書かれている。ピアノが重要な伴奏楽器となっており、メンバー自ら演奏することもあるが、ゲスト奏者を迎えることもある。

世界各地でのコンサート活動が、彼らの活躍を物語る。ヨーロッパ、アジアに定期的にツアーをするほか、一流オーケストラや音楽祭にソリストとして招かれている。2016年1月には、ウィーン楽友協会でアンドリス・ネルソンス指揮ウィーン・フィルハーモニーのソリストとして演奏する。この特別な演奏会のためにオーストリア系ハンガリア人の作曲家イワン・エレートに3本のクラリネットとオーケストラのための協奏曲が委嘱されている。

2016年には、ドイツ・グラモフォンよりCDがリリースされる。

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝。その後、ザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演するほか、国内外で活発に活動を展開。2009年にはモーツァルトのピアノ・ソナタ全曲をフォルテピアノとモダンピアノを用いて演奏するといった意欲的な企画に取り組み、好評を得た。CDはこれまでに7枚をリリース。2007年第17回出光音楽賞受賞。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Music Education Program》を開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。

1 10/4 日 15:00

タンブッコ

~メキシコ発、驚異のパーカッション・アンサンブル~



【出演】
タンブッコ(パーカッション・アンサンブル)
【曲目】
R.ガヤルド:ムビラとカリパのための新作(世界初演)
H.インファンソン:エマトフォニア(あざのできる音楽)
S.ライヒ:木片のための音楽 他

2 10/18 日 15:00

秋吉敏子 ~TOSHIKO JAZZ LIVE!~



【出演】
秋吉敏子(ジャズ・ピアノ)
【曲目】
当日発表

3 11/27 金 19:00

ゴージェ・カプソン&児玉 桃

~二人のエスプリが奏でるチェロ・ソナタ~



【出演】
ゴージェ・カプソン(チェロ)
児玉 桃(ピアノ)
【曲目】
■シューマン:幻想小曲集(チェロとピアノ編)op.73
■ブリテン:チェロ・ソナタ ハ長調
■ドビュッシー:チェロ・ソナタ ニ短調
■ブラームス:チェロ・ソナタ第1番 ホ短調

5 2016(平成28年) 2/20 土 15:00

荘村清志 ゲスト:小林沙羅

~20年目の命日に贈るタケミツの愛のうた~



【出演】
荘村清志(ギター)
小林沙羅(ソプラノ)
【曲目】
武満 徹
■フォリオス
■すべては薄明のなかで
■エキノクス
■ソングスより「小さな空」* 他

